

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン**【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 **学びを楽しみ、仲間とのふれあいを楽しみ、体を動かすことを楽しむ美原っ子** ～楽しく3つの調和をとれた子どもの育成をめざす～

堺市立 **美原北小学校**  
校長 **北林 康男**

令和7年度 重点目標 「総合的な学力」の育成 豊かな心と健やかな体の育成 学校力・教師力の向上 つながる教育の推進

「確かな学び」の現状  
・基礎学力の定着に時間がかかる児童が多い。話し合い活動では、自分の考えを相手に伝えようとする姿が見られ、それに対してしっかりと話を聞こうとする態度が身につけてきた。意欲的に「対話」に取り組む一方で、考えを伝えて終わり、聞いて終わりという場面も見られる。自分の意見を詳しく伝えたり、人の意見をより詳しく聞こうとしたりすることに課題がある。受け答えや他者の意見から違う意見を考えたり、その発言に対して自分の考えを伝えたりすることなどはできていない児童が多いので、今後の取組が必要な取り組みを行っていく。

「豊かな心・健やかな体」の現状  
・人とつながる様子や友達に対して優しく接する姿が見られる。一方で、ルールや規律に対する認識が低く、北っ子の約束に書かれていることを守ろうとする意識が年々低下しているように感じられる。改めて、北っ子の約束を児童や教職員が再認識し、学校として守っていく必要がある。  
・体育アンケートより、体育や運動が好きな児童は多い。中でも、ボール運動などは好きな児童が多いが、器械運動や道具を使用した運動が好きでない児童が多い現状である。安全面として、授業中における怪我が多かったために、道具の使い方や安全面に対しての指導をしていく。

入項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	(評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	・「子ども自ら考え、学びを深めあう授業作り」をめざす。	●カリキュラムマネジメント表を作成し、各学年対話に重点を置き、計画的に指導を行う。 ●年3回の職員研修を行い、研究テーマについて計画、評価、改善する場を設ける。 ★ペアやグループ学習を通して、他者と学びあう授業に取り組む。	・校内研究授業、公開授業	状態についての協議	年度末 年度末	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
		・ふりかえりの質の向上をめざす。	・研究授業討議会、公開授業でふりかえりについて検証する場を設ける。	・校内研究授業・児童のノートの見取り ・ふりかえりの内容の整理や表現	状態についての協議	年度末	○	○	○
		・学習規律の定着をめざす。	・年3回の学習アンケートを実施し、学習規律に対する意識を高める。	・学習アンケートでの肯定的意見が8割	学習アンケート	毎学期	○	○	○
	学習内容の定着	・家庭学習習慣の定着をめざす。	・自主学習ノートを活用する。毎月、自主学習オリンピックを開催し、児童の意欲喚起を行う。	・自主学習オリンピック ・学校アンケートでの「子どもは自主学習ノートを使い、自主学習に取り組んでいる」の肯定率の増加	状態についての協議 学校アンケート	年度末	○	○	○
		・基礎学力を定着させるため教師の指導力向上をはかる。	・初任校の教員を中心に研修を毎月行う。	・スキルアップ研修	状態についての協議	年度末	○	○	○
豊かな心・健やかな体		・「北っ子の約束の徹底」をめざす。	●北っ子の約束に基づいた月間目標を部会で話し合い、児童に朝会で周知する。その後、学級で目標が達成できたか月末に振り返る。	・児童会アンケートでの肯定的意見が8割	児童会アンケート	年度末	○	○	○
		・授業時間、学習時間の厳守をめざす。	●教員は、始業のチャイムで授業を開始、終業のチャイムまで授業を終了する。 ●児童は、チャイムが鳴り終わるまで学習の準備をした状態で着席する。	・児童会アンケートでの肯定的意見が8割 ・児童の日々の様子	児童会アンケート 状態についての協議	年度末	○	○	○
		・いじめを未然に防止するための取組を行う。	●年一度、教員向けにいじめ防止についての研修を行う。 ●生活アンケートで学期に1回、いじめに関する現状把握を行う。 ●各クラス、年一度いじめ防止についての啓発授業を行う。	・生活アンケートの回収、確認 ・教員への確認	生活アンケート 状態についての協議	年度末	○	○	○
	心身の健康の促進	・規律を守り、安全に運動を楽しむことができる児童を育てる。 ・心身の健やかな成長を促進する。	●児童が協力しながらスモールステップで取り組み、積極的に活動できる体育授業を目指す。 ・体育時における正しい服装やルール、道具の使い方の徹底を行う。	・体力テスト ・児童の日々の様子 ・運動に関するアンケートの実施	・体力テストの記録比較 ・運動に関するアンケート	年度末	○	○	○

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭による食育・栄養指導を行う。</li> <li>・「家での7つの約束」の再啓発による規律ある生活習慣の確立を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の日常の様子</li> <li>・病完搬送件数の確認</li> <li>・健康に関するアンケートの実施</li> </ul>	状態について協議 病完搬送件数の前年度比較、健康に関するアンケートの比較	年度末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭による食育の指導については、食育の年間計画に沿って、「家での7つの約束」との関連をふまえて、実行することが出来ている。</li> <li>・健康に関するアンケートについては、今年度は1学期に実施し、児童の実態把握に活用することができた。</li> </ul>	道具の使い方や服装、運動場でのルール等を守っている割合も90%に達している。体育大会の練習等の精査により、保健室に来室する児童は減少し、年間通しても減少傾向にある。2学期に実施した2回目の生活習慣アンケートから、朝食や、カルシウムなどの食に関する知識・意識面については向上が見られた。特にカルシウムに関しては、4年生の牛乳の残量が24%→15%に減少した。意識・知識面についても、顕著に向上が見られた。	給食の好き嫌いや、食事量の個人差はあるものの、栄養教諭を中心に食事の大切さをしっかりと伝えてきていると感じた。今後も継続して取り組んでほしい。
子ども理解 特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた支援体制づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の学級、通級指導教室、支援学級が連携した継続的な指導体制の充実をはかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導体制の連携確認</li> </ul>	状態についての協議	年度末	○ 担当者間や必要に応じて特別支援コーディネーターが介入しながら、連絡・相談の機会を設けている。また児童や保護者への対応も複数の職員で対応するように努めている。	○ 月に1回の子ども相談委員会に加えて、週1回の職員打ち合わせでの報告や個別のケース会議などを随時行うことで、教員間で児童の情報を共有しながら、個別の支援・指導を進めていくことができた。教員間の共通理解を図りながら、次年度への児童の配慮事項等の引き継ぎも適切に行えるよう準備を進めている。	○ 子どもの困り感に寄り添い、柔軟に対応してもらっていると感じた。教員間で情報の共有を密に行うことで、子どもの困り感の減少だけでなく、教員の負担感の軽減もつなげてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども相談委員会（校内委員会）を開催し、通常の学級や通級指導教室、支援学級、家庭での対応方針や支援方法、役割分担について、検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に対しての効果的な支援</li> </ul>	状態についての協議	年度末	○ 月1回、全職員が集まる機会に定期的に子ども相談委員会を行い、要配慮児童や学年の様子など共通理解を図っている。必要に応じて、臨時の委員会も設けている。教育相談が2学期末現在で12件あり、どのような支援が必要なのか検討しながら進めている。	○	

<b>校長より（年度末）</b> 「対話」という観点からペアやグループでの話し合いを授業に取り入れ、一定の成果があったものとするが基礎学力の定着という点からみれば、継続して取り組んでいく必要がある。また、「ルールや規律」に関しても北っ子の約束やチャイムを活用し、意識レベルではあるが一定の成果があったと考える。引き続き「ルールや規律」を大切に学校運営を行っていきたい。	<b>学校関係者評価者から（年度末）</b> 子どもたちの現状に合わせて、学校が日々様々な取り組みを実践していることが判った。時代の変化とともに学校としての在り方も変わってきており、大変な面もあろうかと思うが、引き続き、子どもや保護者の言葉を傾聴しながら学校運営をお願いしたい。
---	--